

令和7年度6月補正予算概要

今回の補正予算につきましては、早急に予算措置が必要となったものに加えて、国、県補助金の内示決定に伴うものを計上しました。

まずは、DX推進です。

生成AIを導入し、文書の素案作成や文書要約等に活用し、業務の効率化と省力化を進めます。

また、教職員等の校務用端末の一斉更新に併せて、校務系と学習系のネットワークを統合し、効率的に教育関係の課題解決を進めるとともに、セキュリティ強化を実施し、次世代の校務DXを実現するためのICT環境を整備します。

次に、安全安心です。

原子力災害時において、孤立化が懸念される地域等にある指定避難所に備蓄物資を追加配備し、防護措置の基本となる屋内退避が継続できる環境を整備します。

また、埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて国が推進する大規模下水道管路の特別重点調査の対象として、本市では管径2mを超える雨水管渠の調査を実施します。

その他に、主なものとして2つ紹介します。

1つ目に、松原地区における幼保連携型認定こども園の整備に向け、必要となる地質調査費、整備費等を設置法人に補助します。

2つ目に、金ヶ崎の公園整備に関連して、旧金ヶ崎駅舎の利活用の可能性を検討するため、建物の構造や耐震性などの調査を行います。

これらの結果、一般会計の補正予算額は9億334万6千円、累計で413億9,983万4千円となり、補正後の予算額を前年同期と比較しますと、0.8%の減となったものです。

今回の補正予算の詳細は、お手元に配布いたしたとおりです。
以上が今回の補正予算の概要でございます。